

地域連携推進会議 議事録

開催日:2026年2月15日(日)

場所:いまるホーム南行徳 1号棟

参加者:

- Aさん
- Bさん
- Cさん
- 渡邊
- 中村

1. 開会挨拶・趣旨共有

渡邊より、地域連携推進会議の目的と開催義務について説明。千葉県の指導により、地域・家族・利用者を交えた年1回の開催が求められていること、グループホームの“密室性”から虐待防止の観点が重視されていることを共有。

【趣旨説明】地域連携推進会議の目的

地域連携推進会議は、共同生活援助(グループホーム)が地域に開かれ、地域と共に運営されているかを確認し、改善につなげるための仕組みとして、厚生労働省および千葉県により「年1回以上の開催」が義務付けられている。

グループホームは生活の場であり、外部から見えにくいという特性があるため、閉鎖的にならないこと・独りよがりの支援にならないことを防ぐ役割を持つ。

本会議は以下の4つを主な目的として開催される。

1. 地域との関係づくり・信頼の確保

近隣住民・自治会・民生委員・家族などと情報共有し、相互理解を深める。

2. 支援の質・運営の透明性の確保

外部の視点を取り入れ、支援内容・生活環境・運営状況が適切かを点検する。

3. 虐待防止・権利擁護の強化

利用者の人権が守られているか、虐待や身体拘束がないかを第三者の視点で確認する。

4. 地域課題への対応・連携強化

防災・感染症・緊急時対応など、地域と協力して支援できる体制を整える。

また、本会議は「形だけの報告会」ではなく、**地域・家族・利用者・事業所が対等に意見を交わし、より良いホーム運営を共に考える場**として位置づけられている。

2. 事業所からの報告

■ 運営理念・支援方針

- ・ いまるホームは「仕事から帰ってくる家」であり、リラックスできる環境づくりを重視。
- ・ 画一的なルールは設けず、利用者ごとに個別のルールを設定している。
- ・ 他のホームのような「帰宅時間」「入浴時間」などの一律ルールはなし。
- ・ 開設から3年間、虐待・身体拘束は一度も発生していない。

■ グループホームの位置づけ

- ・ 障害者支援施設(大規模・重度)とは異なり、**日中活動(仕事・作業所)に通う“自立を目指す方”**が生活する住まいである。

■ 家族との連携

- ・ 家族とはLINEでつながり、日々意見交換を行っている。
- ・ 「風通しの良いホーム」として運営できている。

3. 地域との意見交換(自治会 菊池様)

■ 地域行事の紹介

- 盆踊り、神社祭礼、節分、子ども食堂など、年間を通じて多くの行事がある。
- 2丁目は特に地域活動が活発で、夏祭りは毎週のように開催される時期もある。

■ 自治会の現状と課題

- 加入者が減少し、役員の担い手不足が深刻。
- 高齢化により行事運営の負担が増大。
- ゴミ捨て場の利用ルールなど、自治会未加入者とのトラブルも発生しやすい。

■ いまのホームへの期待

- 「地域行事にもぜひ参加してほしい」
- 「困った時は声をかけてほしい。地域として支え合いたい」
- 「2丁目は仲間意識が強いので安心して生活してほしい」

4. 家族からの意見(山田さんのお母様)

- 「本人が実家に帰ってこないほど居心地が良いようで安心している」
- 市川市の“手をつなぐ会”でも「帰ってこないのは珍しい」と言われた。
- 部屋の片付けが苦手である点が唯一の心配。
- → ホーム側も把握しており、継続して見守る方針。

5. 利用者本人の意見(青木様)

- 「嫌なことはない」「楽しく過ごしている」
- 大戸屋での勤務を継続し、休まず働いている。
- 他の入居者とも良好な関係を築いている。

6. 経営状況・BCP(業務継続計画)報告

■ 経営状況

- 開設初年度は赤字だったが、3期目で黒字化し安定運営に移行。

- 電気代高騰などはあるが、運営に支障はない。

■ BCP・災害対策

- 避難確保計画に基づき、年1回の避難訓練を実施。
- 感染症対策の研修も年1回実施。

7. 施設見学(1号棟・2号棟)

- 菊池様・山田さんのお母様に見学いただいた。
- 「リフォームされており非常に綺麗」「掃除が行き届いている」との評価。
- 個室の整理状況については、引き続きホーム側で見守りを継続。

8. 今後の地域連携について

- 地域行事(祭り・子ども食堂など)への参加を検討。
- 災害時の協力体制についても地域と連携していく。
- 「困った時は地域に頼ってほしい」との心強い言葉をいただく。

9. 次回開催・閉会

- 次回の地域連携推進会議は 2027 年度に開催予定。
- 日程は決まり次第、参加者へ連絡する。
- 渡邊より閉会挨拶。

以上